

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	桑名市家庭教育支援チーム (呼称:子ども応援ネットワーク in くわな(略称:CCN))
②活動拠点	桑名市
③活動範囲	桑名市を中心とした三重県内
④組織体制	<p>16 団体 _____ 人</p> <p>16 団体のネットワーク</p> <p>託児や子育てひろばの開催など子育てを支援する NPO(2)、ガールスカウト(1)、こども食堂を開催する NPO(2)、障がいのある子どもの療育 NPO(1)、人権啓発、女性と子どもへの暴力防止教育 NPO(4)、里親会員(1)、こどもアドボケイト(1)、学習支援 NPO(1)、スクールカウンセラー(1)、兼務として民生児童児童委員(1)、主任児童委員(1)、人権擁護委員(2)、社会教育委員(1)</p>
⑤活動開始年度	2010年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) NPO 法人ネットワークくわっこ内 (TEL)0594-21-0501 (E-mail)kiramama22@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他(フードパントリー)
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 <p style="text-align: right;">の子供を持つ保護者に対する活動を実施</p>

③活動内容

【具体的な活動内容】

- ① 定例会による各参加者の情報交換 子育て及び教育相談等を実施し、その内容やニーズを共有し各 NPO の活動につなげていく。また、各 NPO のイベント等の参加を呼びかけ、子育て及び家庭教育の大切さを学んでいただく。
- ② 保護者支援(家庭教育支援)に向けた取り組み CCN 参加 NP の家庭教育支援に関わる主な活動を次に挙げます。

〈NPO 法人ネットワークくわっこ〉

1. 乳幼児と保護者対象の広場事業(桑名市委託事業)
2. ウェルカムベビープログラムの実施
3. 託児事業 * 保護者の学びの場やつながる場などを設け、子どもの豊かな育ちにつながる家庭での関わり(家庭教育)を充実させていく。

〈エンパワメントみえ〉

1. 保護者向け子育て講座及び支援者講座講師
2. 民生委員会講座講師
3. 志摩市等人権講座講師
4. 母子自立生活支援施設・母親プログラムファシリテーター

〈CAP みえ〉

1. 学校、家庭、地域で取り組む、「子どもへの暴力防止プログラム」ワークショップ実施(三重県児童相談センター・桑名市・津市・委託)
2. 母子自立生活支援施設・母子へのプログラム実施 * 暴力のない安心な地域社会をめざしていく。

〈NPO 法人太陽の家〉

1. 子ども食堂
2. シングルマザーのミーティング
3. フードパントリー

〈声を聴きつなぐ会〉

1. 学校における子どもへの性暴力防止活動

- ③ 子どもの豊かな育ちに向けた取り組み

・子ども応援マップの作成と配付

隔年で4回配付 子どもが自身の気持ちに注目し、表現できるよう支援するリーフレット 学校を通しての配付。そのため、配付時に教師が

	<p>ミニワークショップができるようシナリオ作成。 保護者にも説明文書を配付。 ・夏休み 1 日学校ごっこ 地域の人を先生に国語・理科等の教科を楽しく学ぶ ・地域の拠点を利用した「子どもの居場所」開催(不定期ほぼ月 1 回)</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある 場合)</p>	<p>夏休み 1 日学校ごっこ コロナ禍が明け、5 年ぶりの開催。 参加者 40 人(往復はがきでの申し込み 76 人・抽選) 低学年 3 コマ・高学年 3 コマ 家庭…調理実習 国語…俳句作り 音楽…様々な楽器でリズム遊び 算数…ストロー・モールの立体づくり 工作…傘袋の飛行機・虹の箱 * 継続を望む声が多数あった。</p> <p>子ども応援マップ 子どもアドボカシー活動で一時保護所の児童に使用 「一人じゃない、応援してくれる人がいる」 「気分転換の方法がわかった」などの声があった。 今後、他団体にも積極的に利用を進めていこうと思っている。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:) <input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施 <input checked="" type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) <input checked="" type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 (民間の寄付等)</p>